

■大学院 中国研究科 中国研究専攻

教育研究上の目的
大学院学則第2条（目的） 本大学に設置する大学院(以下「本大学院」という。)は、課程の目的に応じ、学理及びその応用を教授・研究し、学術の深奥を究めて、人類社会の発展に貢献しうる人材を養成するとともに文化の進展に寄与することを目的とする。
大学院学則第6条の2（研究科及び専攻） 本学が中国研究・教育分野において挙げてきた伝統とその研究成果を踏まえ、中国を対象にして社会科学・人文科学の各分野を学際的に研究し、かつ総合化し、修士課程においては、高度な専門的な職業人の養成と研究能力の育成を、博士後期課程においては、修士課程での研究能力を踏まえたうえで研究者養成を目的とする。特に、修士課程のデュアルディグリー・プログラムにおいては、国際的かつ高度な専門的な職業人の養成と国際的水準に達する研究能力の育成を、博士後期課程デュアルディグリー・プログラムにおいては、国際的な水準に達した研究者の養成を目的とする。
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）
【修士課程】 中国研究科修士課程では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで記述しているように中国研究に特化しており、学際的に中国研究を行い、また中国研究の各分野における先行研究を踏まえた学位授与方針を採っています。専攻分野における研究能力を有すると認められる者及び高度な知識を必要とする高度専門職業人に学位を授与します。 修士課程においては、愛知大学学位規程に基づき、修士課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。修士学位論文においては、先行研究を批判的に整理し、新たな開拓すべき研究分野であることを、充分な資料批判の上に立った資料解析と論理展開が説得的になされていることが必要です。 また、本研究科の学位授与の特色としてカリキュラム・ポリシーに記述しているようなデュアルディグリー・プログラムがあり、それに基づいて日中双方の学位授与が行われています。 【博士後期課程】 中国研究科博士後期課程では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで記述しているように中国研究に特化しており、学際的に中国研究を行い、また中国研究の各分野における先行研究を踏まえた学位授与方針を採っています。専攻分野について研究者として自立して研究活動を行う能力を有すると認められる者に学位を授与します。 博士課程においては、愛知大学学位規程に基づき、博士課程に3年以上在学し、12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。 博士学位論文においては、修士学位論文で記述した内容を展開させ、研究として一つの体系をなしていることが肝要です。 また、本研究科の学位授与の特色としてカリキュラム・ポリシーに記述しているようなデュアルディグリー・プログラムがあり、それに基づいて日中双方の学位授与が行われています。
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
【修士課程】 中国研究科修士課程では、人文系・社会系の2系統のコースに分かれ、それぞれの希望専攻に対応しています。まず、人文・社会両系統を総合化しうる能力を身につけかつ中華世界を総体的に理解し考察する基礎的な能力を育成するために、「中国学総論a・b」・「中国研究方法論a・b」を1年次におき、いずれか1科目をコースの如何を問わず、選択必修としています。それに、各自の希望専攻分野に応じて必要な科目都合32単位を履修しつつ、演習を通じて担当指導教授による研究・論文指導が行われます。論文指導は必要に応じて複数の教員によって行われます。 また、修士課程では中国人民大学、南開大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、1年間の中国留学、日本留学で留学先大学の所定の科目履修及び留学先大学の指導教授からの研究指導を受けます。両大学における必要な単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できます。 【博士後期課程】 中国研究科博士後期課程では、3年以上の在学が必要であり、その中で必修の研究演習において博士学位論文作成のための基本が示されます。論文指導は必要に応じて複数の教員によって行われます。 また、博士後期課程においては中国人民大学、南開大学、東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、所定の留学、単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できます。
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）
【修士課程】 中国研究科修士課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、人文・社会各分野が横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、及び研究者養成を目的とし、

愛知大学 3つのポリシー（2021～2023 年度）

それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、修士課程においては、中国語文献の講読解析能力を土台に、相当の中国語能力（中国語検定2級、または旧 HSK 6 級以上、または新 HSK 5 級以上、もしくはそれと同等の語学力）およびそれに相応する英語などの外国語能力、中華世界全体を俯瞰しうる幅広い視野と知識、その裏付けとなる問題意識と教養が求められます。在籍者の多数を占める留学生に対しては、日本における膨大な中国研究の蓄積を批判的に摂取しうるだけの日本語能力（日本語能力検定 N1 レベル、もしくはそれと同等の語学力）も当然ながら要求されます。

【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、人文・社会各分野が横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、及び研究者の養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、博士後期課程においては、基本的かつ広い視野を持ち、新たな研究分野を開拓し、学界の発展に寄与しうる一定の研究能力を持つ学生を期待しています。

また、中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、専門分野についての諮問が行われます。分拠点学生においては上述の能力に加え、日本語及び原典を記した外国語の専門文献の読解能力が要求されます。また本学から分拠点大学に行く学生にも同様に、専門分野に関する知識や分析能力、中国語及び原典に記された外国語の専門文献の読解能力が要求されます。